最近の県内経済情勢

令和８年11月５日

財務省関東財務局

前橋財務事務所

問い合わせ先
前橋財務事務所　財務課
電話　027-896-2908（直通）

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項　　目	前回(8 年 7 月判断)	今回(8 年 10 月判断)	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	**緩やかに回復しつつある**	→

(注)8 年 10 月判断は、前回 8 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項　　目	前回(8 年 7 月判断)	今回(8 年 10 月判断)	前回比較
個人消費	**回復しつつある**	**回復しつつある**	→
生産活動	**持ち直しつつある**	**持ち直しつつある**	→
雇用情勢	**横ばいの状況にある**	**緩やかに持ち直しつつある**	↗
設備投資	**8 年度は減少見込みとなっている**	**8 年度は増加見込みとなっている**	↗
企業収益	**8 年度は増益見込みとなっている**	**8 年度は増益見込みとなっている**	→
企業の景況感	**「下降」超幅が拡大している**	**「下降」超幅が縮小している**	→
住宅建設	**前年を上回っている**	**前年を下回っている**	↘
公共事業	**前年を下回っている**	**前年を下回っている**	→

【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

2. 各論

■　個人消費　「回復しつつある」

コンビニエンスストア販売額、ホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額は横ばいで推移しており、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額、乗用車の新車登録届出台数は前年を上回っている。また、宿泊・観光は持ち直している。

全体としては、回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- ➢ 今年の夏は気温が想定よりも高くならなかった影響を受け、8 月の夏物衣類の販売は不調に終わったが、9 月に入ってからは秋物の販売が好調であった。（百貨店・スーパー）
- ➢ 7-9 月は低温で雨が多く、飲料、アイスクリーム、酒類等天候に左右されやすい商品の販売が低調だった。（百貨店・スーパー）
- ➢ 物価上昇の長期化によって節約意識は強まっている印象がある。物価上昇が続く中で適正価格が分かりづらくなっており、値引きよりも増量企画の方が、お得感を実感しやすく訴求力が高いと考えている。（コンビニエンスストア）
- ➢ 前年比で買上げ点数は増加しており、売上げ全体も増加している。物価上昇に対し、セール品等をうまく利用する動きがみられるため、一品単価は物価上昇率を下回る微増にとどまっている。（ドラッグストア）
- ➢ 車種ごとの動向の差はあるものの、販売動向の全体としては可もなく不可もなくといった状況である。物価上昇による消費者マインドの変化は特に感じられない。（自動車販売）
- ➢ シルバーウィークについては、台風の影響が心配されたが、大型イベントを実施した効果もあり、宿泊施設の予約は埋まっていたため、総じて悪くはなかった。（業界団体）

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

生産活動は、業種別にみると、輸送機械、化学は減少しているものの、食料品は概ね横ばいで推移しており、汎用機械・生産用機械・業務用機械は増加している。全体としては、持ち直しつつある。

- ➢ 安価な製品を販売する外国メーカーに勝てていない地域もあるが、主要地域での販売は好調であり、生産量は概ね計画通りに推移している。（輸送機械）
- ➢ AI、自動車、電気機器向けの需要が好調なため、景況感は良い。電気自動車向けでは、リチウムイオン電池周辺の部品向けの製品を多く供給している。（化学）
- ➢ 天候不順の影響を受けた商品もあったが、天候に左右されにくい主力商品の販売は好調だったため、工場全体の稼働率は高水準だった。（食料品）
- ➢ 工作機械向け、半導体向けとも稼働率が増加しており、半導体関連装置については稼働率が 100%を超えるため、子会社や外注業者にて生産している。（生産用機械）
- ➢ 中東情勢の悪化により懸念があった原材料の調達については、価格は上がっているものの確保できており、生産や利益に与える影響は生じていない。（電気機械）

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直しつつある」

新規求人数は増加しており、有効求人倍率は上昇している。雇用情勢は緩やかに持ち直しつつある。

- ➢ 整備士の人手不足が続いており、日本人の採用が厳しいので外国人の採用を増やしている。近年はベトナム、ネパール等の外国人の採用が増えてきた。（小売（自動車販売））
- ➢ 半導体関連の雇用が逼迫しており、中途採用にも力を入れている。（製造（化学））
- ➢ 医療・福祉業界では待遇改善の取り組みを進めており、ここ 3 か月ほどで成果が見え始め、求人数が伸びている。建設業やプラスチック業等でも求人数が伸びている。（行政機関）

■ 設備投資 「8 年度は増加見込みとなっている」（全規模・全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 8 年度の設備投資は、製造業で前年比 1.8%の減少見込み、非製造業では同 11.1%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同 2.6%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「8 年度は増益見込みとなっている」（全規模）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 8 年度の経常利益は、製造業では前年比 23.4%の増益見込み、非製造業では同 3.6%の増益見込みとなっており、全規模では同 10.5%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」（全規模・全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 企業の景況判断 BSI は、「下降」超幅が縮小している。先行きについては、9 年 1-3 月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

○ 新設住宅着工戸数でみると、持家、分譲、貸家とも前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

- ➢ 金利の上昇を受け、顧客がより慎重なスタンスをとるようになり、計画の見直し（取りやめ）が生じている。（住宅建設）

■ 公共事業 「前年を下回っている」

○ 前払金保証請負金額でみると、国、県、市町村は前年を下回っており、全体では前年を下回っている。

最近の県内経済情勢

（資料編）

令和８年11月５日

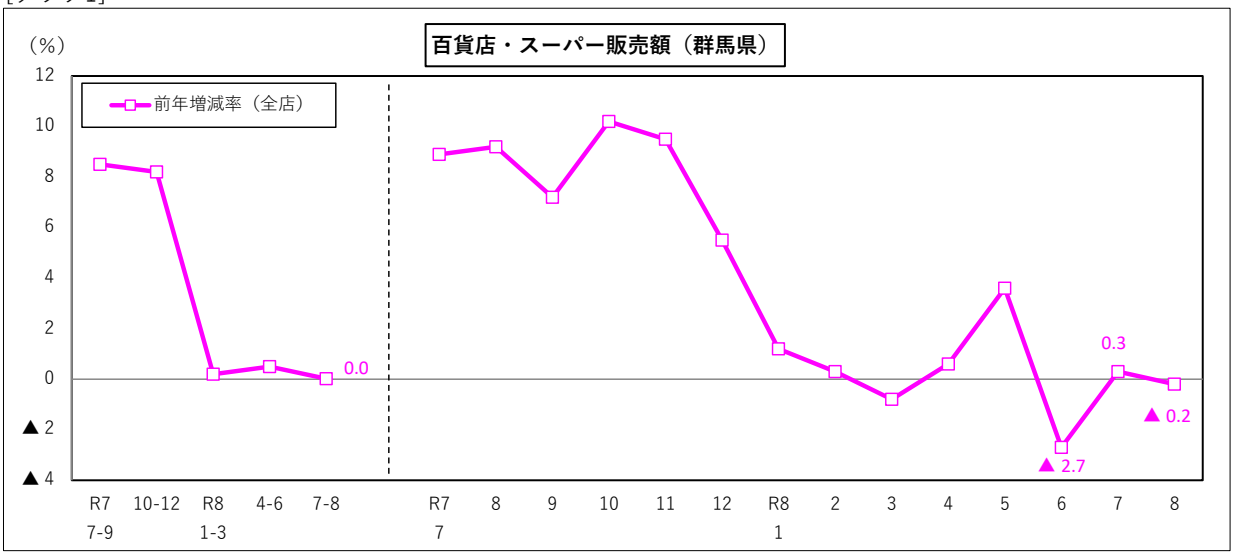
財務省関東財務局

前橋財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

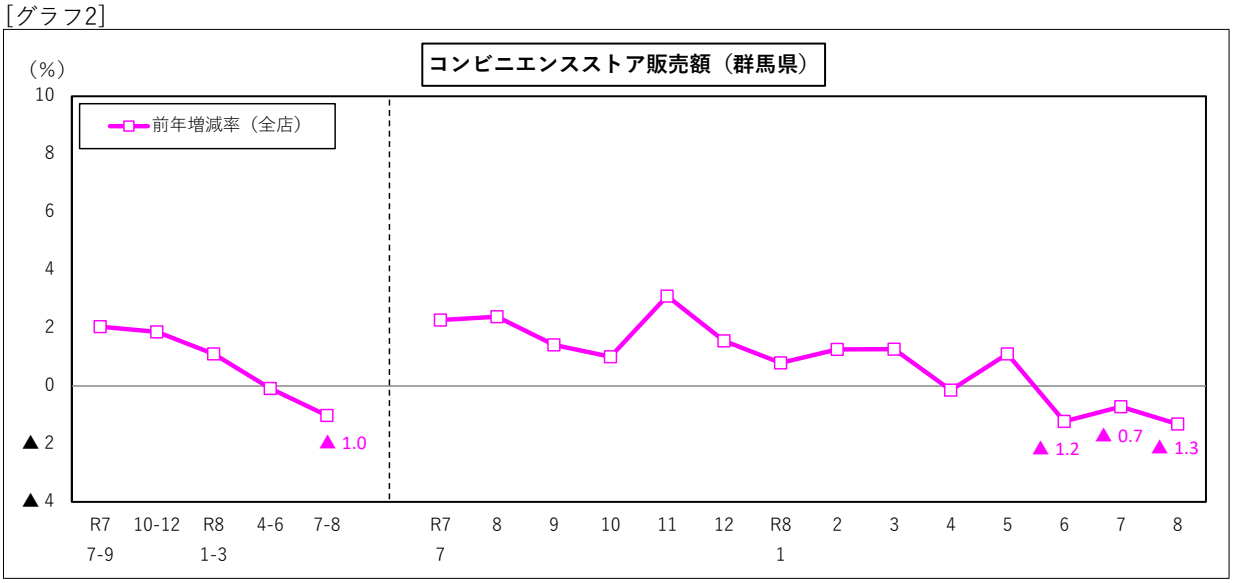
1.個人消費　　回復しつつある

[グラフ1]



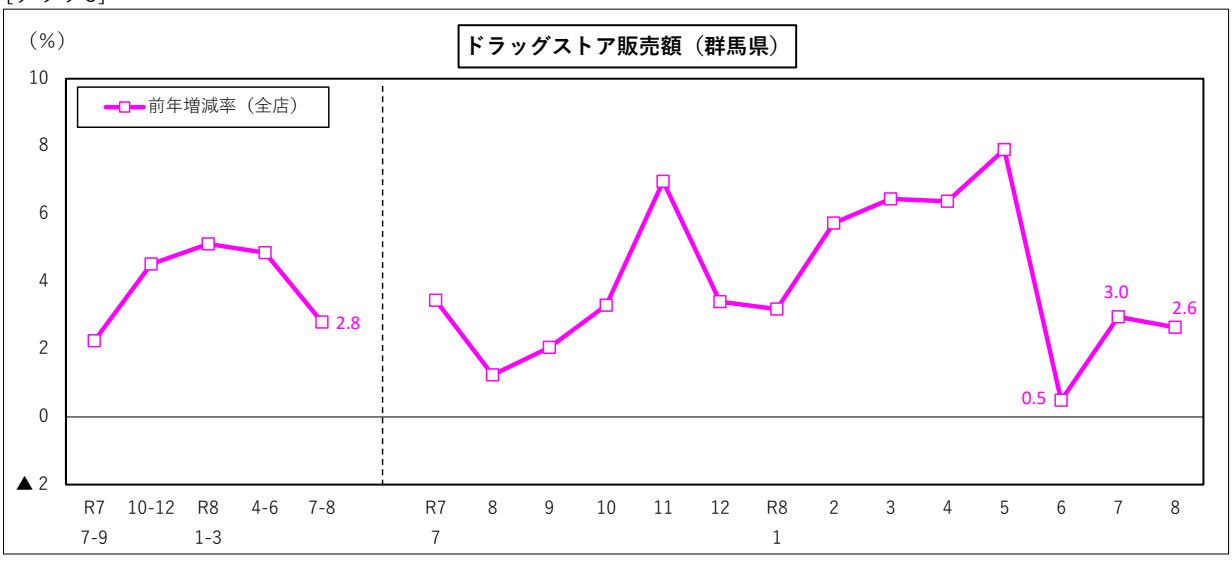
【経済産業省】

[グラフ2]



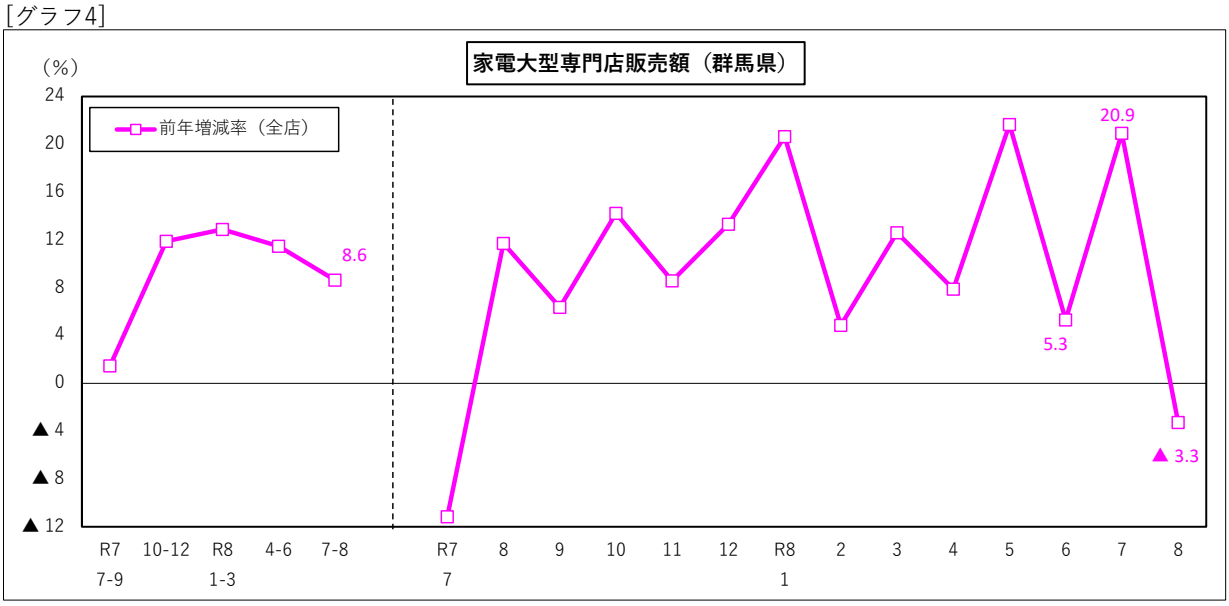
【経済産業省】

[グラフ3]



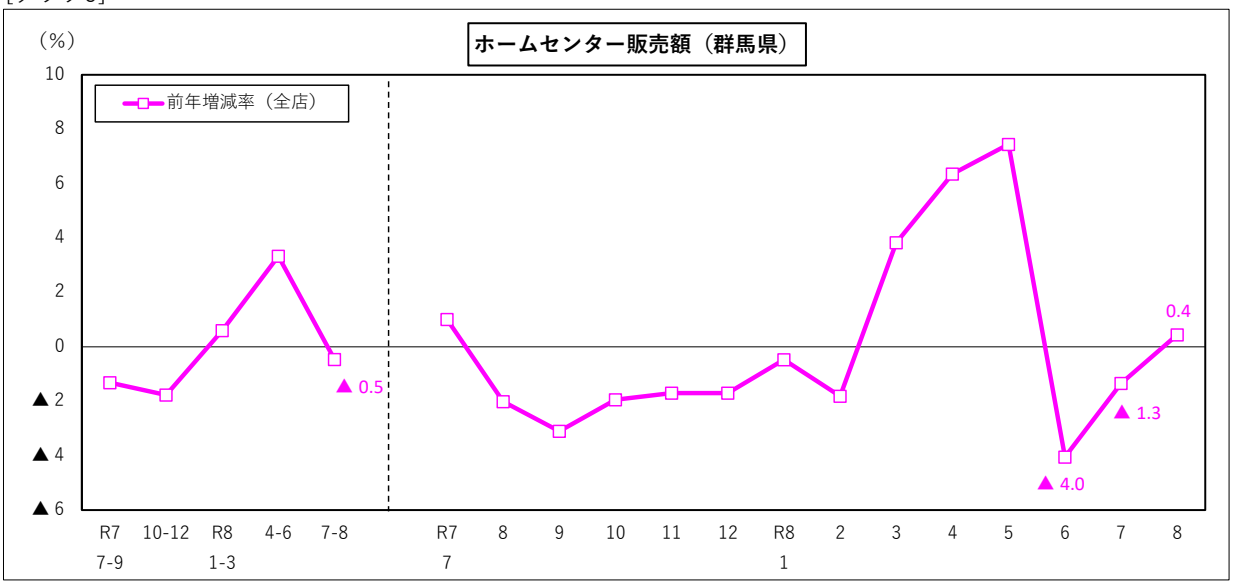
【経済産業省】

[グラフ4]



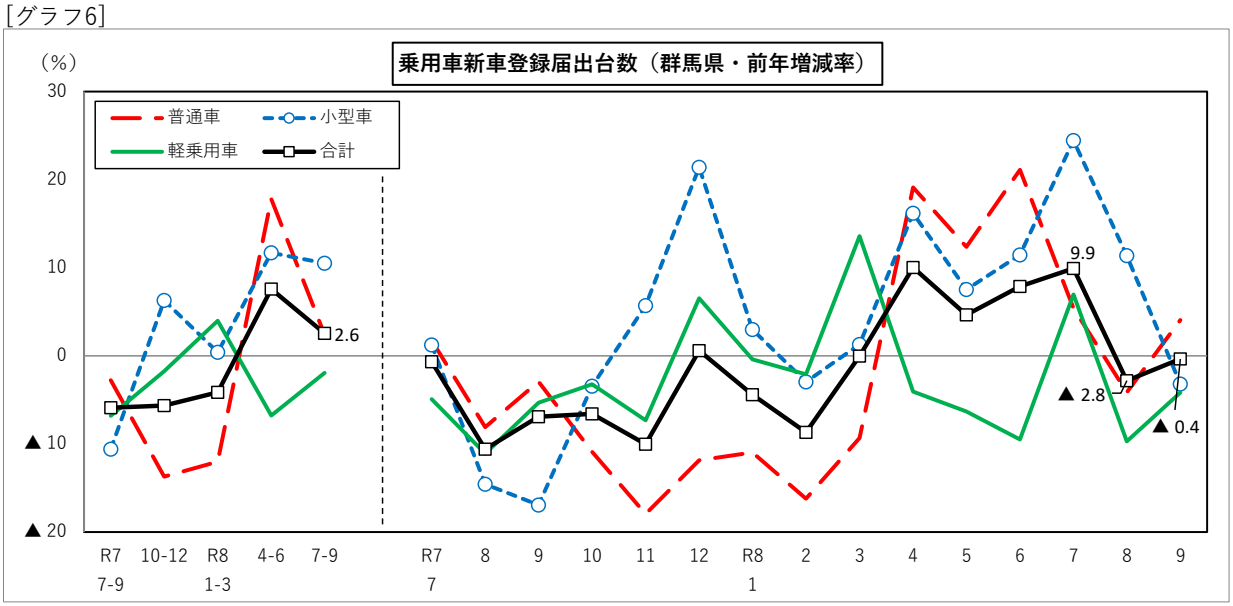
【経済産業省】

[グラフ5]



【経済産業省】

[グラフ6]

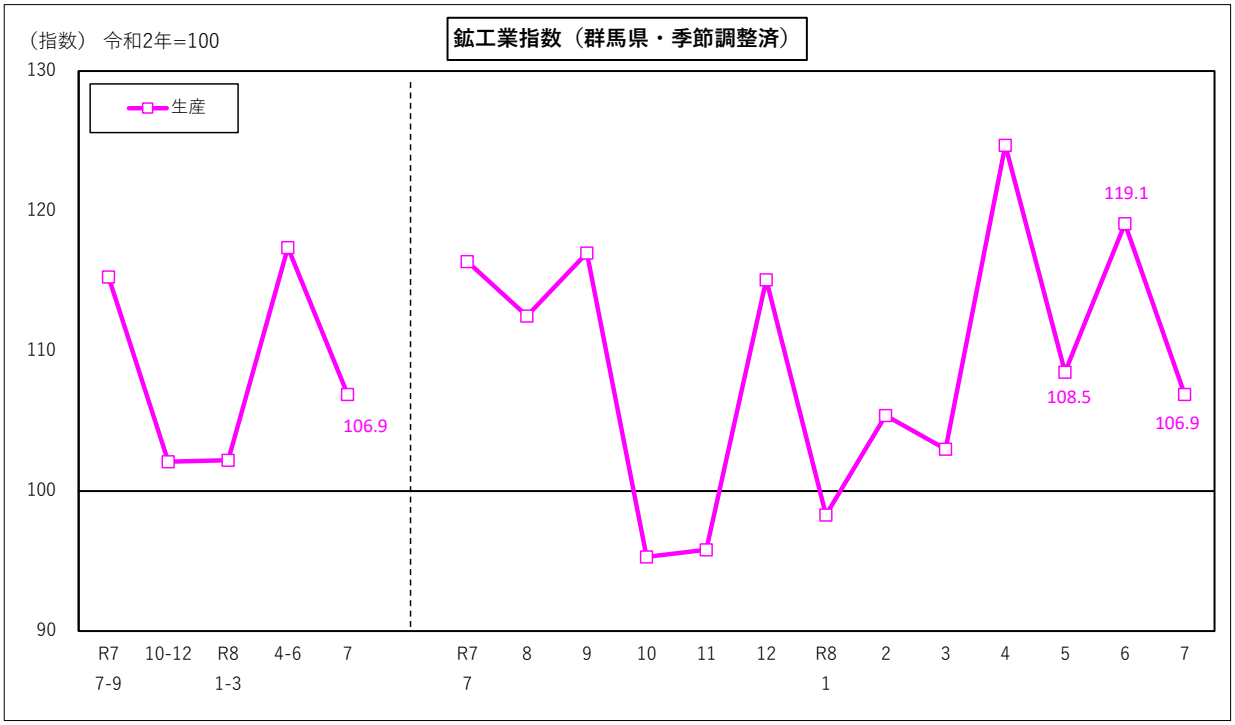


【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

2.生産活動

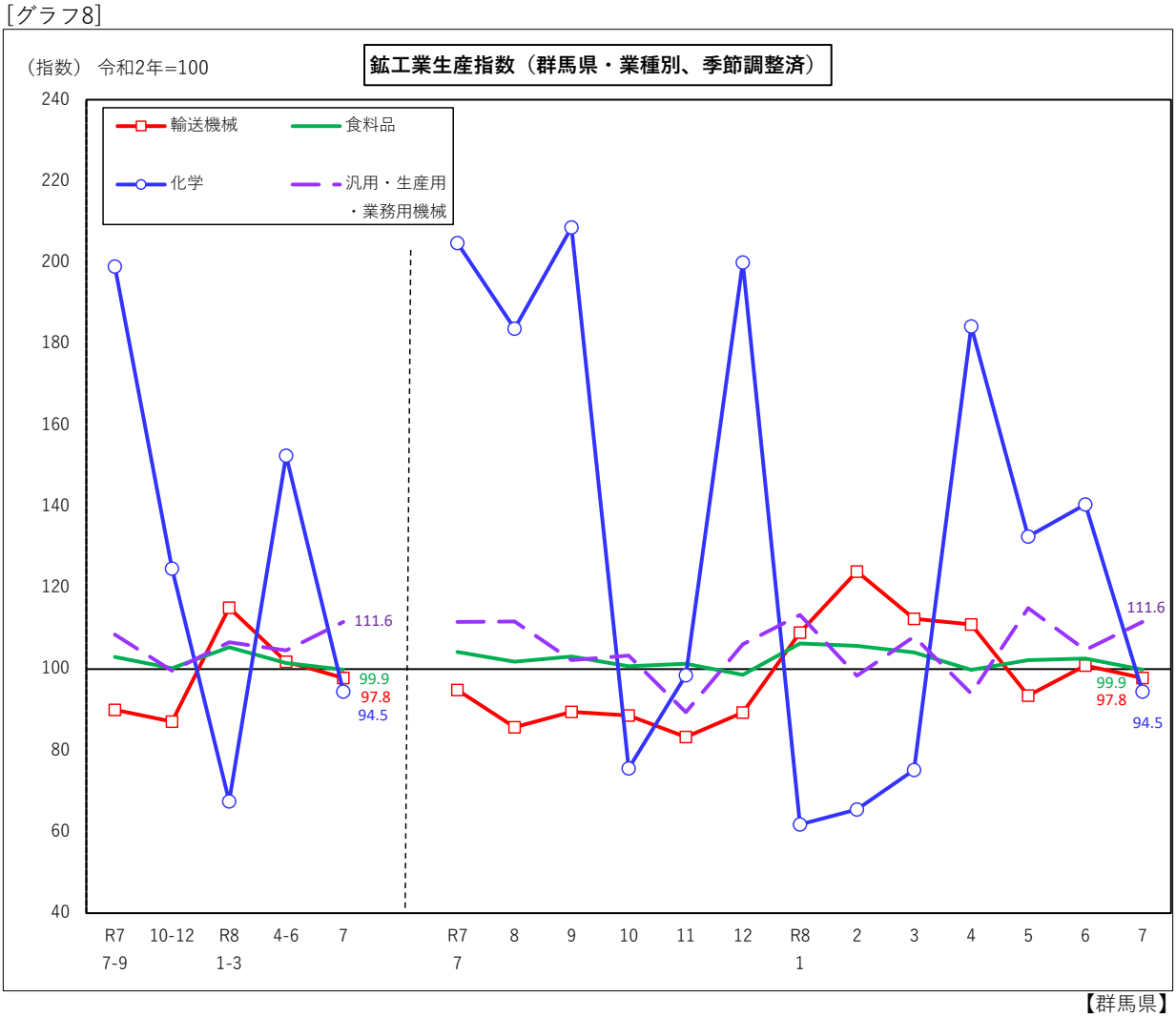
持ち直しつつある

[グラフ7]



【群馬県】

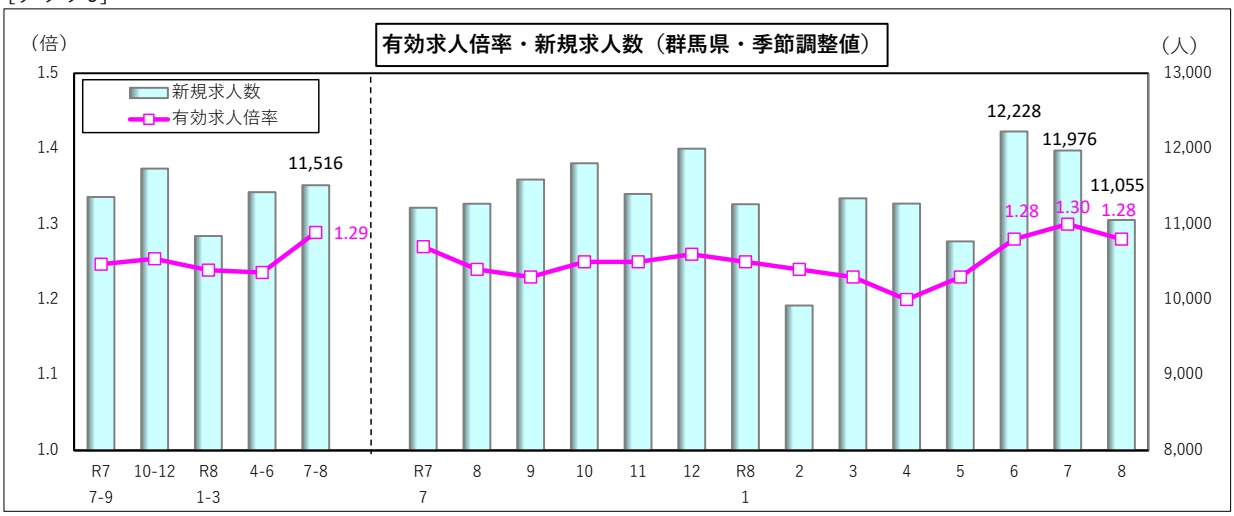
[グラフ8]



【群馬県】

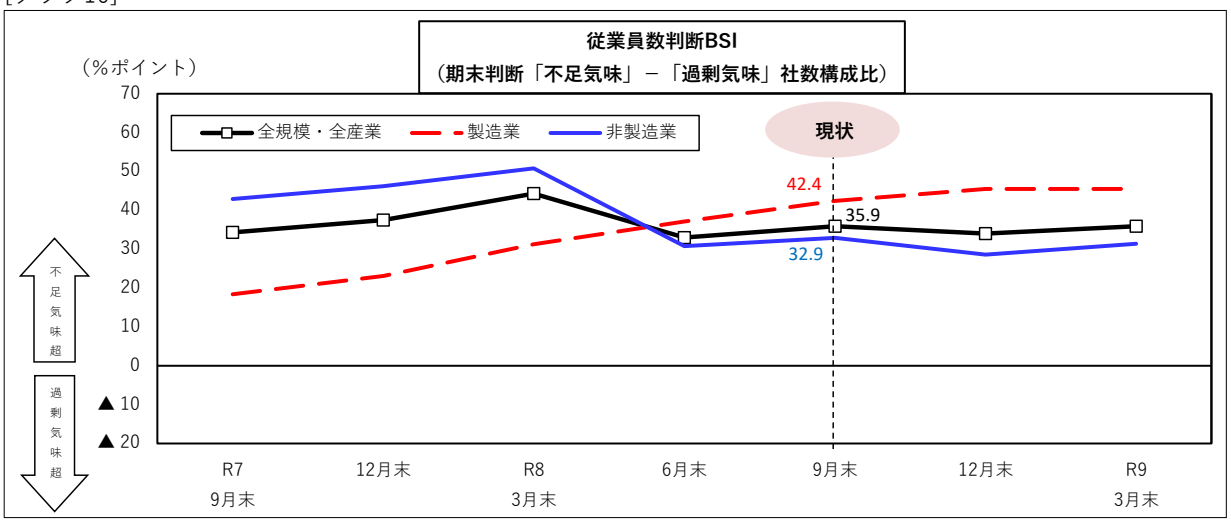
3.雇用情勢　　緩やかに持ち直しつつある

[グラフ9]



（注）四半期の新規求人数は月当たりの平均。　　【厚生労働省】

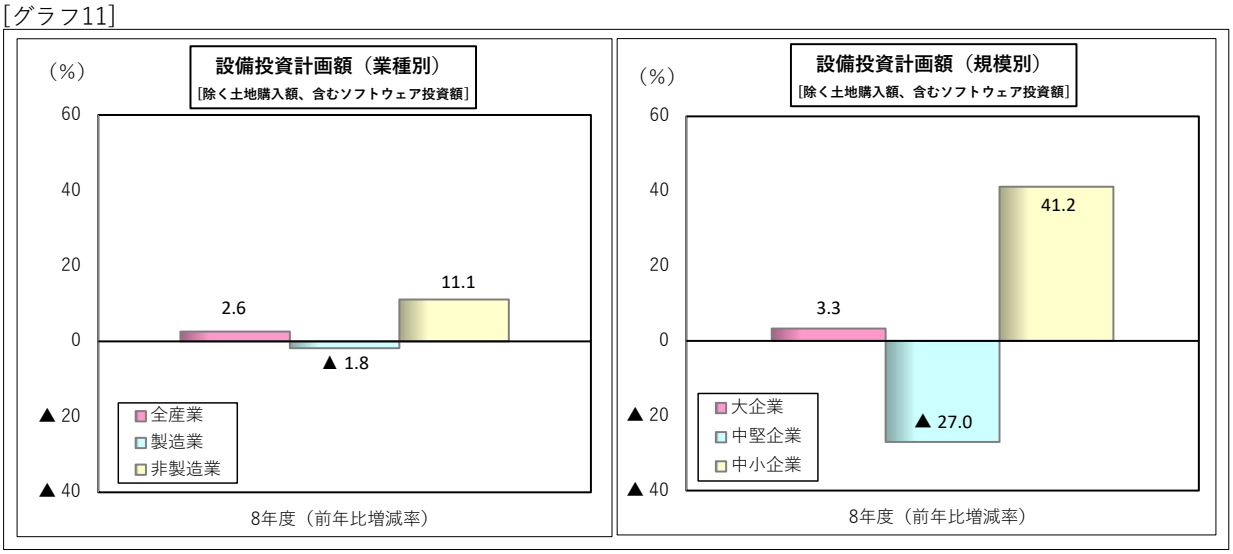
[グラフ10]



【前橋財務事務所（法人企業景気予測調査）】

4.設備投資　　8年度は増加見込みとなっている

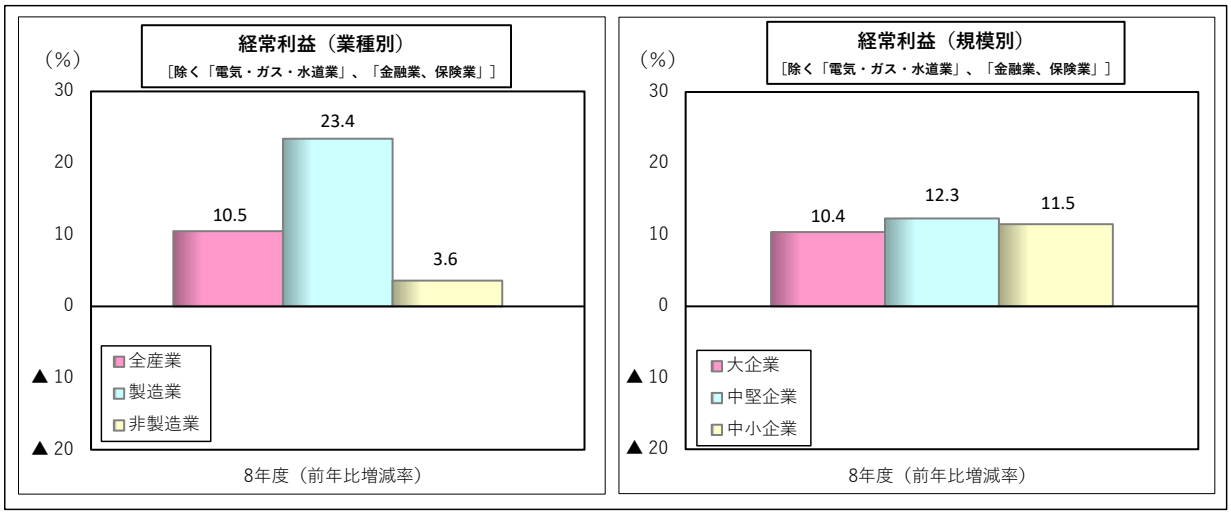
[グラフ11]



【前橋財務事務所（法人企業景気予測調査）】

5.企業収益　　8年度は増益見込みとなっている

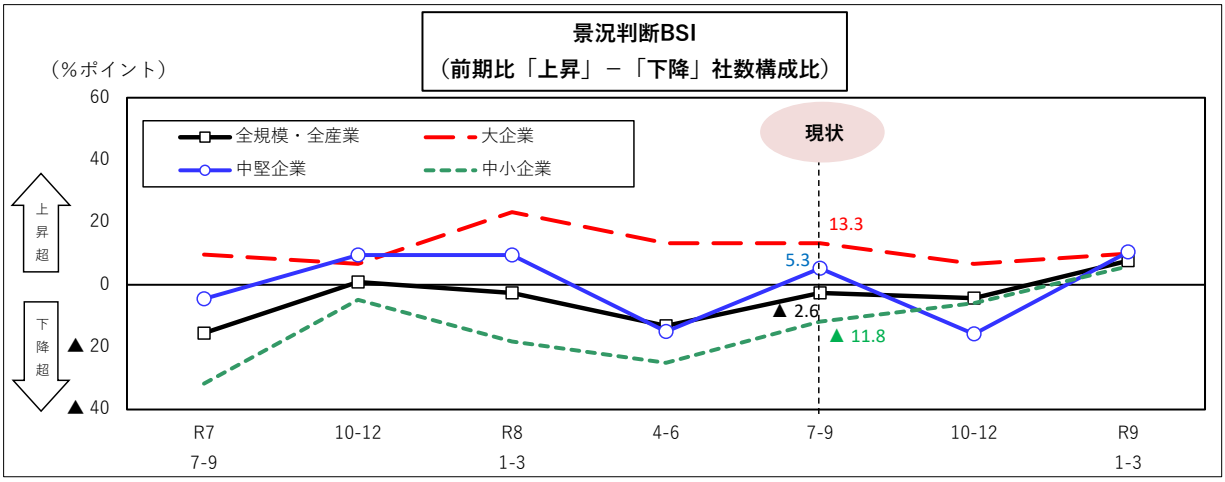
[グラフ12]



【前橋財務事務所（法人企業景気予測調査）】

6.企業の景況感　　「下降」超幅が縮小している

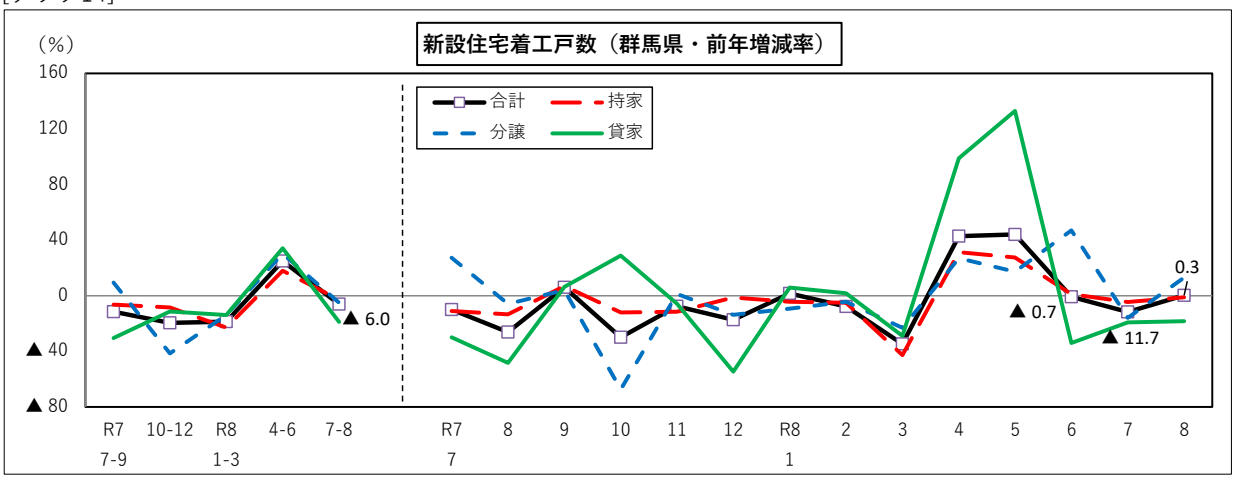
[グラフ13]



【前橋財務事務所（法人企業景気予測調査）】

7.住宅建設　　前年を下回っている

[グラフ14]

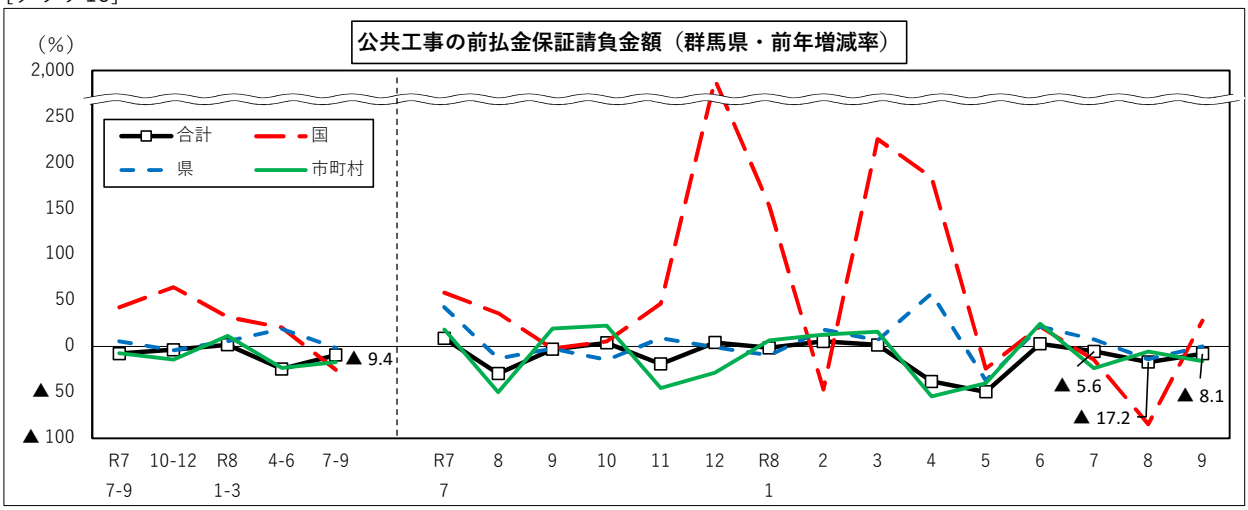


（注）合計には給与住宅を含んでいる。

【国土交通省】

8.公共事業　　前年を下回っている

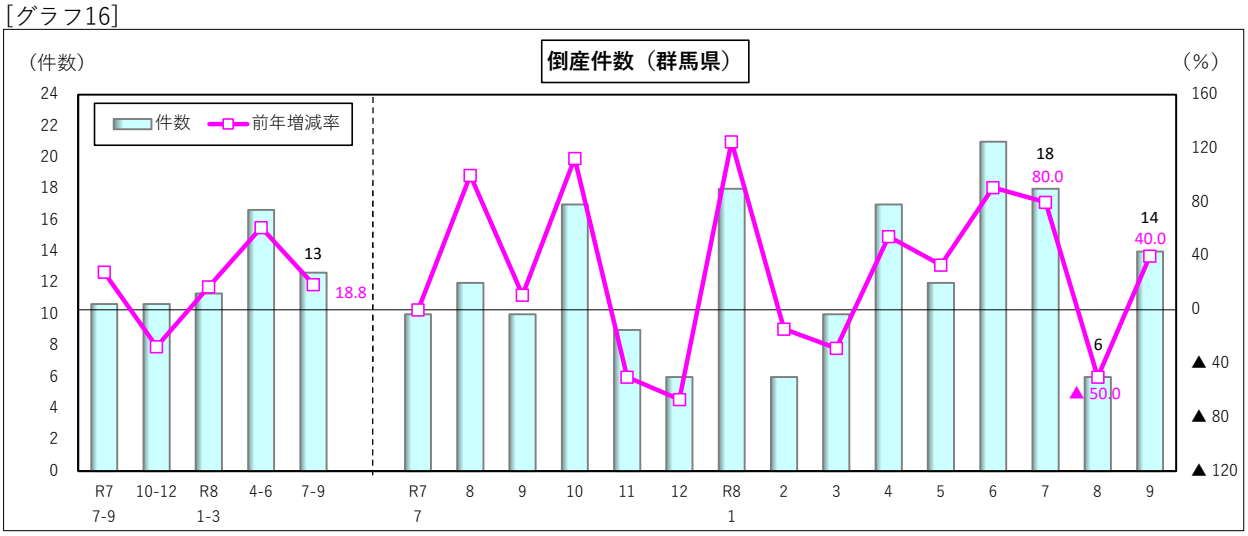
[グラフ15]



【東日本建設業保証株式会社ほか】

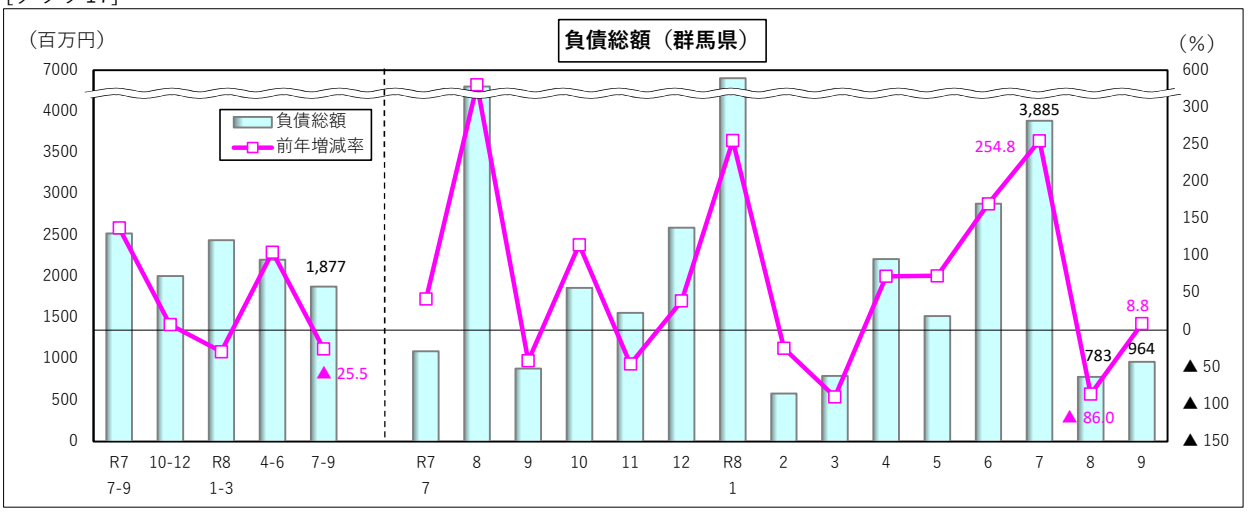
9.企業倒産　　負債総額は前年を下回っている

[グラフ16]



（注）調査対象は負債額1,000万円以上。四半期の件数は月当たりの平均。　　【株式会社東京商工リサーチ前橋支店】

[グラフ17]



（注）調査対象は負債額1,000万円以上。四半期の負債総額は月当たりの平均。　　【株式会社東京商工リサーチ前橋支店】